

策定の背景等

本市を取り巻く社会経済情勢

- ◇歴史的円高による日本経済への影響
- ◇少子高齢化と人口減社会の進行
- ◇東日本大震災の発生とエネルギー問題
- ◇サービス産業の位置づけの高まり
- ◇情報社会・知識経済社会の進展
- ◇アジアの成長と経済のグローバル化
- ◇グリーン・イノベーションへの期待の高まり

本市のポテンシャル（優位性）

- ◇ものづくり産業の集積
- ◇充実した都市・産業基盤
- ◇学術研究都市などの知の集積
- ◇エコタウンと環境産業・技術の蓄積
- ◇国際戦略総合特区・環境未来都市のW選定
- ◇豊富な実証フィールド
- ◇新たな施設が集積する小倉・黒崎地区
- ◇アジア諸都市とのネットワーク

本市の産業・雇用の課題

- ◇地域製造業の競争力強化
- ◇人材の確保（学生の地元就職の推進）
- ◇ものづくり現場での人材不足解消
- ◇中心市街地の活性化とサービス産業の集積強化
- ◇雇用の更なる改善
- ◇所得水準の低さ

産業雇用戦略の取組み成果

新たな雇用創出

目標：1万人（H20～24年度）  
実績：7,321人（H20～23年度）

市民所得の向上

目標：5%程度向上（H24年度時点）  
実績：▲5.18%（H23年度）

市内総生産（名目）

目標：4兆円（H32年度時点）  
実績：3兆4670億円（H21年度）

5つの方向性とリーディングプロジェクト

方向性Ⅰ 地域企業が元気に活動し続ける環境整備

- ◎地域企業のビジネス展開を推進する組織横断的な体制の整備
- ◎中小企業の競争力向上
  - 中小企業の経営支援
  - 地域商業の活性化
  - ベンチャー企業の創出・育成
- ◎地元製品・サービスの利活用の推進
- ◎地元企業の高度化・新製品開発支援
  - 研究開発・事業化支援
  - 学術・研究基盤の推進
- ◎地域活性化のための人材育成の強化
- ◎充実した物流基盤を活用した物流振興

方向性Ⅱ 高付加価値ものづくりクラスターの形成

- ◎次世代自動車産業拠点の形成
  - 次世代自動車（EV、FCV、電気バス等）の工場立地
  - 環境配慮型部品の供給基地の形成
  - 北部九州自動車150万台先進生産拠点推進構想の推進
- ◎我が国をリードするロボット産業拠点の形成
  - 産業用ロボットの国内外シェアの拡大
  - 民生用ロボットの開発支援
  - 地域企業のロボット導入支援
- ◎豊富な実績等を活かした環境産業拠点の形成
  - 次世代資源循環型産業拠点の形成
  - 環境配慮型製品・環境関連サービスの集積
- <その他の主要施策>
  - 素材・部材産業
  - 航空機産業
  - 立地環境の整備

方向性Ⅲ 国内潜在需要に対応したサービス産業の振興

- ◎高齢者を中心とした健康・生活支援ビジネスの推進
  - 高齢者の健康増進・長寿産業の振興
  - 生活の質を支える生活支援ビジネスの振興
- ◎にぎわいづくりによる集客交流産業の拡充
  - 産業観光、歴史的資産、環境観光資源等を活用した集客促進
  - 街なかのにぎわいづくり及び中心市街地活性化
  - 空き家を活用したビジネスモデルの構築
  - 地元産品の6次産業化の推進
- ◎サービス産業の高付加価値化の推進及び情報通信産業の集積
  - サービス産業の集積促進及び高付加価値化の推進
  - 北九州の特性を活かした情報通信関連産業拠点の形成
  - 情報コンテンツ産業及び情報サービス産業の創出・育成
- <その他の主要施策>
  - サービス産業に対する総合的な支援
  - 農林水産業の生産基盤の整備や担い手の育成
  - 北九州空港を核とした集客・航空関連産業の充実

方向性Ⅳ グローバル需要を取り込む海外ビジネス拠点の形成

- ◎アジアに貢献する都市インフラビジネスの展開
  - アジア低炭素化センターを核とした都市インフラビジネスの推進
- ◎海外工場のサポート拠点の形成
  - 市内工場のマザー工場化の推進
  - 海外工場のサポート拠点化の推進
- ◎北九州発ブランドの海外ビジネス支援
  - 中小製造業の海外ビジネス支援
  - 飲食、小売、サービス業の海外ビジネス支援
- <その他の主要施策>
  - ブリッジ人材の育成・確保
  - 海外とのネットワークの強化
  - 海外ビジネスをしやすい環境の整備

方向性Ⅴ 地域エネルギー拠点の形成

- ◎省エネルギー（ネガワット）の推進
  - 省エネ施策の推進
  - スマートコミュニティのビジネス化
  - 市域全体へのスマート化の促進
  - 省エネルギー、スマートコミュニティの国内、海外ビジネス展開
- ◎再生可能エネルギー・基幹エネルギーの創出拠点の形成
  - 再生可能エネルギーの立地促進
  - 基幹エネルギーの立地促進
  - 再生可能エネルギー産業の拠点化推進
  - 再生可能エネルギーの普及支援
- ◎安定・安価で賢いエネルギー網の構築
  - 安心して産業活動ができるようなエネルギー基盤の創出
  - 最先端の産業コンピナートの構築
  - 広域貢献するエネルギー網の環境整備

雇用創出に向けて

- 若者や女性、高齢者、障害者が働きやすい環境整備
- 求職者の年代や経験、能力等に応じた就業に必要な能力の向上や、スキル取得への支援や就労体験を盛り込んだマッチング
- <雇用機会の創出>
  - ・付加価値の高い産業の振興により、質の高い雇用を創出すること
  - ・雇用吸収力の高い産業の振興により、多くの雇用を創出すること
  - ・市民の個々の生活スタイルに合わせた多様な雇用機会を創出すること

推進体制

- 組織横断的な体制による推進。民間の知恵も積極的に取り入れなど

目標像

新たな技術と豊かな生活を創り出すアジアの先端産業都市

成果目標

・新たな雇用創出	・市民所得	・市内総生産
8000人	政令市中位	4兆円
(H27年度)	(H32年度)	(H32年度)